

2011 年度報告書（研究員）

氏名	中山 大将
職位	研究員
<p>研究概要</p> <p>採用時のテーマ：ポスト社会主義期におけるサハリン残留および帰国日本人・韓国人コミュニティの親密圏変容の研究</p> <p>1) 次世代ユニット</p> <p>昨年度の次世代ユニットでの成果を受けて、今年度は次世代ユニット研究「女性人口移動にみるアジア社会主義システムの再編成と親密圏の変容」を通じて、本テーマの深化を試みる計画であったが、予算削減のため独自の調査研究を行うための研究費が得られなかった。このため、下記の各研究プロジェクトとの連関のなかで研究を進めた。成果は WP にまとめる予定である。</p> <p>調査上の大きな進展としては、サハリン残留日本人の新たな各種名簿類を収集したほか、これらの整理・分析を開始し、これまで明らかにされてこなかったサハリン残留日本人の実態を明らかにする下地ができたことである。今年度はその成果も踏まえた研究成果が論文等として刊行され、来年度以降も引き続き複数の成果が刊行される見込みである。</p> <p>①蘭信三（上智大学・教授）「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」（2008-2011 年度）科学研究費補助金（基盤研究（B））、②今西一（小樽商科大学・教授）「19～20 世紀北東アジア史のなかのサハリン・樺太」科学研究費補助金（基盤研究（B））（2009-2012 年）、③中山大将（京都大学・博士後期課程）「戦後開拓の経験からの「農」の再考」トヨタ財団 2009 年度研究助成プログラム（2009 年 11 月-2010 年 10 月）、④野田公夫（京都大学・教授）「農林資源問題と農林資源管理主体の比較史的研究—国家・地域社会・個人の相互関係—」科学研究費補助金（基盤研究 B（一般））（2010-2012 年度）、⑤「国際共同研究集団研修（中国社会研究短期集中プログラム）」日本学術振興会「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム（大航海プログラム）」「京都エラスムス計画：持続的社会発展に向けた次世代アジア共同研究リーダー育成」（2011 年度）、⑥中山大将（京都大学・研究員）「日本帝国崩壊後の樺太植民地社会の変容解体過程の研究」科学研究費補助金（研究活動スタート支援）（2010 年 11 月-2012 年 3 月）。⑦中山大将「20 世紀樺太・サハリンの移動・運動・交渉史研究のための資料・インフォーマント整備」京都大学若手研究者ステップアップ研究費（2011 年度）</p> <p>2) 京都エラスムス計画（南京大学）</p> <p>京都エラスムス計画により、南京大学へ約 2 ヶ月間派遣され、院生らと中国農村の共同調査を行いその調査報告書を共同執筆した。さらに、昨年度の経験をふまえ、南京大学の張玉林教授や楊德睿副教授らの協力を得て、南京大学社会学院と京都大学エラスムス計画の共催の形で、南京大学の社会学・人類学を専攻する院生および若手研究者らと共同でフォーラムを開催した。南京大学および張玉林教授は、本 GCOE の連携先であるから、来年度は今年度は得られなかった本 GCOE の協力も得て、このフォーラムを継続したい。</p> <p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>&lt;学会誌論文（有査読）&gt;</p> <p>①「樺太移民社会の解体と変容—戦後サハリンをめぐる移動と運動から—」『移民研究年報』第 18 号、2012 年 3 月。</p> <p>&lt;商業誌・学術書論文（無査読）&gt;</p> <p>②中山大将「二つの帝国、四つの祖国—樺太／サハリンと千島／クリル」蘭信三編『アジア遊学 145 日本帝国崩壊とひとの再移動』勉誠出版、2011 年 9 月 10 日、201-215 頁。</p> <p>③中山大将「韓国永住帰国サハリン朝鮮人—韓国安山市「故郷の村」の韓人」今西一編『北東アジアの 코리아ン・ディアスポラ—サハリン・樺太を中心に』紀伊国屋出版、2012 年 3 月。</p> <p>&lt;研究プロジェクト報告書&gt;</p> <p>③櫻田涼子・中山大将編『京都エラスムス計画 2011 年度 中国社会研究短期集中プログラム成果報告—京都大学・南京大学若手研究者共同フォーラム報告論文集—』京都大学大学院経済学研究科「京都エラスムス計画」事務局、2012 年 1 月 16 日、総 65 頁。</p> <p>④中山大将「日本人口越境迁移的历史社会学研究」櫻田涼子・中山大将編『京都エラスムス計画 2011 年度 中国社会研究短期集中プログラム成果報告—京都大学・南京大学若手研究者共同フォーラム報告論文集—』京都大学大学院経済学研究科「京都エラスムス計画」事務局、2012 年 1 月 16 日、20-29 頁。</p> <p>⑤中山大将、巫執、李德营「中国农村の公共宣传：从“原子化”以及“组织化”的观点来看」櫻田涼子・中山大将編『京都エラスムス計画 2011 年度 中国社会研究短期集中プログラム成果報告—京都大学・南京大学若手研究者共同フォーラム報告論文集—』京都大学大学院経済学研究科「京都エラスムス計画」事務局、2012 年 1 月 16 日、60-65 頁。</p> <p>&lt;報告&gt;</p> <p>⑥“One Home, Two Empires, Three Nations: Japanese and Korean Repatriation from Karafuto and Persistence in Sakhalin.” Association for Asian Studies &amp; International Convention of Asia Scholars, April 2, 2011, Hawaii Convention Center, USA.</p> <p>⑦〈日本人口越境迁移的历史社会学研究〉南京大学-京都大学社会学・人類学博士论坛、南京大学社会学院、京大大学院経済学研究科“京都伊拉斯谟计划”联合主办，南京大学社会学院，2011 年 9 月 16 日。</p> <p>⑧「樺太森林資源開発と南樺太林業—1917 年ロシア革命から 1938 年までを中心に—」日本農業史学会 2011 年度研究報告会個別報告、東京大学農学部、2011 年 6 月 11 日。</p> <p>⑨「総力戦体制と樺太庁中央試験所—1937 年以降の樺太植民地社会における帝国の科学—」日本農業史学会 2012 年度研究報告会個別報告、九州大学、2012 年 2 月 28 日。</p>	